

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス・児童発達支援 ひなたきっず			
○保護者評価実施期間	令和7年3月10日 ～ 令和7年3月28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数)	15名
○従業者評価実施期間	令和7年3月10日 ～ 令和7年3月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員全体で毎朝のミーティング、毎活動後のミーティングを行う事で児童1人1人の振り返りや、支援方法の良かった点や改善点などをしっかりと話し合い、チーム一丸となり同じ方向性を持って支援に取り組む事を心掛けています。	ミーティングの際、職員1人1人が意見を出しやすい環境作りを心掛けています。その日休みの職員にも翌日に必ず引継ぎを行い、チーム連携を大切にしています。	職員全員が専門的な知識と技術を高めると共に児童1人1人により良い支援を提供出来るようチーム連携を深めていきます。
2	言語訓練を必要とする児童に対し個別訓練を実施し、言語面やコミュニケーション能力の向上に繋げている。 様々な分野の療育を実施し、楽しみながら興味の幅を広げている様取り組んでいる。	言語聴覚士との言語訓練を個室で実施することで、訓練へ注意を向きやすくしている。 児童1人1人に合った療育方法を実施しています。	今後も言語訓練、様々な療育に取り組む中で、1人1人の興味の幅を広げ、コミュニケーション能力の向上に繋げていきます。
3	ご家族様に対し定期的な面談のほか、お電話やメール、送迎時の際にしっかりと情報共有を行い、お子様、ご家族様に寄り添う支援を心掛けている。	ご家族様とお話しした内容は必ず全職員が周知し、ご家族様が職員に対し話しやすいと感じる雰囲気作りを心掛けている。 ご利用された日のお子様の様子をメールにて写真を送っています。	今後もお子様、ご家族様にとって安心してご利用出来る事業所になる様、職員一同努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園などとの交流が出来ていない。	地域の保育所や幼稚園児との交流の機会を持てるようになる。	連絡会議などを通し、交流方法や助言等をお聞きし実施に繋げていきます。
2	父母の会やきょうだい同士の交流の機会が持てていない。	保護者の方や兄弟が参加するイベント内容や場所の検討をする必要がある。	連絡会議などを通し、交流方法や助言等をお聞きし実施に繋げていきます。
3	保護者の方へのマニュアル等の周知が浅い。	作成しているマニュアルを保護者の方に周知していただく。	保護者の方にご説明する方法や機会について検討していきます。